

病院と地域をおすぶ

南生協病院の理念 私たちは、ともにあゆむ医療で、笑顔と

「ありがとう」があふれる病院をめざします



パイプライン



2020年 1月号

発行：202.1 総合病院 南生協病院

電話番号 052-625-0373

十二月

一日外来患者数：792.1人 一日入院患者数：277.5人

ベッド稼働率：88.7% 救急車：219台 手術数：138件

新年のご挨拶 院長 長江浩幸

新年あけましておめでとうございます。

南生協病院が2010年3月23日に南大高に移転して10年になります。

「市民の協同でつくる健康なまちづくり支援病院」を掲げ、地域の暮らしに役立つ病院、頼りにされる病院を目指してきました。

高齢化がすすむ中、病院に求められる役割は変わってきました。以前は急性期疾患への対応が重要でした。病院の役割は診断し治療し、無事に退院してもらうことであり、医療が病院内で完結できました。現在では様子が変わりました。

高齢者は、複数疾患を持つ方が多く、独居・高齢二人暮らしなどが増えていきます。急性期の病気を治しても、体力が落ちた、認知機能が低下したなど、自宅で暮らすのが難しくなるケースをしばしば経験します。患者の大半が75歳以上の後期高齢者となる中、入院中から退院後の暮らしも視野に入れた情報収集や、退院後への丁寧な対応が必要です。

当院は今年から「暮らしのドック健診」という普段のくらしぶりの聞き取りを病棟や外来で始めます。また2018年に地域包括ケア病棟を開設しました。「地域包括ケア病棟とは、急性期医療を経過した患者及び在宅において療養を行っている患者等の受入並びに患者の在宅復帰支援等を行う機能を有し、地域包括ケアシステムを支える役割を担う病棟」（地域包括ケア病棟協会）です。当院の地域包括ケア病棟は院内からだけではなく、大学病院・がんセンターなど高度急性期病院からの、その後の治療療養の受け入れ、自宅や施設で療養中の方の受け入れも積極的に実施しています。院外からの受け入れが5割を超えています。

2002年から運用している緩和ケア病棟も院外から、特に自宅療養中に容体が悪化した緩和期の患者様の受け入れが増えています。急性期病院から退院を勧められたがすぐには退院できないとき、自宅や施設療養中で体調を崩したが高度急性期病院には入院適応ではないと言われた時など、南生協の地域包括ケア病棟・緩和ケア病棟にご相談ください。

高度医療について、現在、心筋梗塞等の治療を行う循環器内科について当院での24時間の受け入れ態勢が整いました。当院は未整備・力不足な領域がありますが、藤田医科大学や大同病院など近隣の高度急性期病院との連携を強化しています。当院で診察し、高度医療が必要な時には病院間連携を活かし積極的にご紹介しています。治療後は当院に戻って、引き続き治療・療養することもできます。

何か困ったときには気軽に相談していただける「かかりつけ」病院を目指して地域の方々はもとより、他の病院・診療所や施設の皆さんからも頼りにされるよう連携機能を強化します。

移転10年を迎え、大型機器の買い替えなども予定しています。これからも、安心・安全に暮らせるまちづくりのインフラとして、暮らしに役立つ病院をめざします。

今年もよろしくお願ひいたします。



認知症サポートチーム(DST委員会)の活動紹介

2025年には、団塊の世代が後期高齢者となり、認知症を患う患者は700万人を超えるとの推計が厚生労働省から発表されています。また、病院では入院患者の20~50%が認知症を患っていると推計がでています。

DST委員会はこのことを受け、入院中の認知症患者の問題を医師、看護師、社会福祉士、管理栄養士、作業療法士と問題に対して各分野の専門職が意見を交わし、認知症患者が安全・安心に入院生活を送れるよう療養環境を整えること、住み慣れた地域で再度その人らしい生活を送れることを目標に認知症・せん妄の学習会、認知症の人とのコミュニケーションのとり方、関わりあい方などを医療職に対して発信しています。

また、「認知症のことなら相談してみよう」とスタッフが気軽に声をかけられるよう週1回病棟ラウンドを行っています。病院内だけでなく、班会などで「認知症のことが知りたい」となれば地域に出向き、勉強会を開くことも可能です。地域ささえあいセンターへの申し込みをお願いします。

認知症の方が最期まで住み慣れた地域でその人らしく生活できるよう支援していけたらと考えています。



認知症看護認定看護師 岡本陽子

健診ドックセンターでもの忘れ検診受診方法

ご予約下さい TEL 052-625-0489

①平日 月~金 午前8時30分~

②金曜日(1.3.5週)午後2時~3時

検診の時間は15分程度です

名古屋市在住の65歳以上の方は無料、それ以外の方は

組合員 3982円、未加入者 5082円



おしらせ

くらしのドック健診はじめました

昨年11月から外来で実施し121件のアンケートをいただきました。職員にとっても新鮮な取組みで、患者さまの「困りごと」と一緒に悩む経験もさせていただきました。お困りの方には「おたがいさまシート」の対象になります。

入院については1月~取組みが始まります。

2月9日(日)12時30分~16時30分

「地域共生社会の実現に向けて」地域大交流会を開催します。

場所：コープ健診フィットネスセンター3F
内容：多くの医療・介護の事例や、まちづくり等の活動をグループごとに報告し交流をします。

記念講演：日本福祉大学 副学長 原田正樹氏

参加費：500円